

産科婦人科・精神神経科・周産期母子医療センターへ受診されている患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	社会的ハイリスク妊産婦への支援における医療機関と地域の保健師等との協働 ー地域カンファレンスの現状と MSW における支援と課題ー
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）周産期母子医療センター（職名）教授（氏名）山田 恭聖
研究の対象となる方	2018 年 4 月から 2024 年 10 月までに、若年妊娠、健診未受診、未婚、子育ての不安、経済的問題、サポート体制がないなどの出産後の養育について支援が必要な当院産科婦人科、精神神経科、周産期母子医療センターへ受診された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2025 年 6 月 30 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 若年妊娠、健診未受診、未婚、子育ての不安、経済的問題、サポート体制がないなどの出産後の養育について支援が必要な当院産科婦人科、精神神経科、周産期母子医療センターへ受診された患者さんで、医療ソーシャルワーカーが多職種多機関との協働による支援により、妊産婦への育児不安の軽減並びに子どもへの虐待リスクの軽減が図れるように、今後の妊産婦支援への課題を検討することを目的としています。 〔利用方法〕 周産期母子サポートチーム地域カンファレンスで使用したケースカンファレンスシートおよび受診時の問診票、カルテより、年齢、既往歴等の情報、支援内容についての情報を利用して、支援内容の検討をさせていただきます。尚、お名前や住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：周産期母子サポートチーム地域カンファレンスで使用しているケースカンファレンスシーおよび問診票、カルテより、年齢、既往歴等の情報、支援内容についての情報を取得。
提供する試料・情報	非該当

を用いる学外の研究 責任者	
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、 2025年5月31日 までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、情報処理前で、情報が個人を識別できる場合のみ対応とさせていただきます。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 医療福祉相談部 担当者：（職名）主任（氏名）青木美典 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 34650）